

トンネル覆工コンクリート片はく落対策 【小片を超えるはく落対策対応工法】

ダイナミックレジン スترونガードTNS工法

NETIS(新技術情報提供システム) 登録No. KT-160153-VR(ダイナミックレジン スترونガード工法)



ダイナミックレジン スترونガードTNS工法とは

トンネル等の覆工コンクリートの乾燥収縮や材質劣化等を主因とするひび割れによって覆工コンクリート片がはく落・落下し、通行車両の安全性を損なう恐れがある場合に、コンクリート片の落下を防止する目的で用いる材料です。

【用途】 トンネル覆工コンクリートの小片を超えるはく落対策工法

【想定されるはく落塊の荷重が0.5kNを超えるものはく落面積が1㎡程度以下のコンクリート片の場合に適用】

【特徴】 ○素地調整材に湿潤面对応型ポリマーセメントモルタルを使用

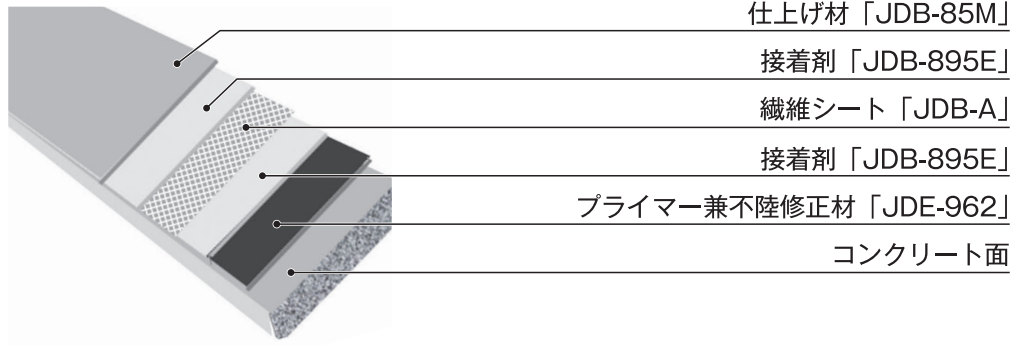
○難燃性エポキシ樹脂系接着剤と特殊繊維シートを使用することで高い押し抜き性能の保持が可能。延焼性・自己消火性・発生ガスの安全性の保持が可能

○仕上塗料に耐候性に優れた無機系塗料を採用

【適合規格】

○「トンネル施工管理要領（平成25年7月）」 はく落対策 繊維接着工法 小片を超えるはく落対策工の材料の基準試験の規定値を満足。

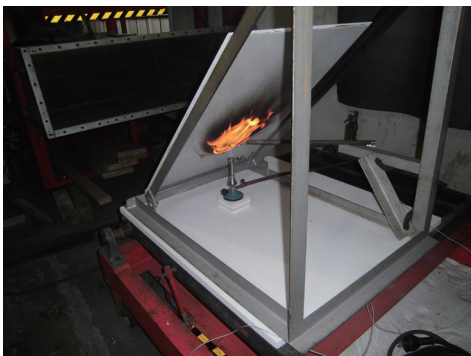
工程図



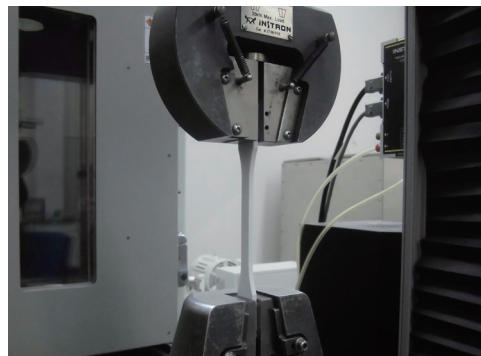
ダイナミックレジン スترونガードTNS工法 標準施工仕様

工程	材料の種類	商品名	荷姿	標準塗布量 [kg/m ²]	標準塗膜厚 Wet時[μm]	施工方法	施工間隔
下地処理工	ウォータージェット又はサンドブラストあるいはディスクサンダー等で全面清掃し、レイタンス（脆弱層）、付着塩分、油分、その他の汚れを十分に除去する。						
プライマー塗布工 兼 不陸修正工	エポキシ樹脂系 ポリマーセメント モルタル	JDE-962	24kg/セット 主剤:2kg・硬化剤:6kg 骨材:16kg	0.5kg/m ² ※1(0.5~1.5)	290 ※1(290~860)	金ゴテ 等	指触乾燥確認直後 ~7日以内
接着剤塗布工 (下塗)	エポキシ 樹脂系接着剤	JDB-895E	18kg/セット 主剤:10kg・硬化剤:8kg	0.7kg/m ²	520	金ゴテ ゴムゴテ 等	直後
繊維シート 貼付工	アラミド繊維 メッシュシート	JDB-A	1m×50m巻き	1.1m ² /m ²	—	ゴムペラ 等	直後~7日以内
接着剤塗布工 (上塗)	エポキシ 樹脂系接着剤	JDB-895E	18kg/セット 主剤:10kg・硬化剤:8kg	0.3kg/m ² ※2(0.3~0.5)	220 ※2(220~370)	金ゴテ ゴムゴテ 等	指触乾燥確認直後 ~7日以内
仕上げ材 塗布工	無機系仕上塗料	JDB-85M	16kg/セット 主剤:15kg・硬化剤:1kg	0.12kg/m ²	100	ローラー 刷毛 等	—

※1 塗布量に関しては下地の状況によって変動する。
 ※2 塗布量に関しては前工程までの状況によって変動する。



【防火性能試験】合格



【引張破壊強さ試験】合格

● 本カタログに記載されている製品の使用、取扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合せてお読みください。
 ● 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したものではありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合がありますので、予めご需要家各位でご確認されることを推奨します。

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。(後日に発見された場合は、責を負いかねます。)
- 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。 ● 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄りの当社へお願いいたします。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

業務用  ISO 9001 認証取得 JQA-A-2019
 ISO 14001 認証取得 JQA-EMO513
 OHSAS18001適合 JQA-OH0017

アイカ工業株式会社

化成系カンパニー

ホームページアドレス

<http://www.aica.co.jp/>



■代理店

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 札幌 ☎(011)811-9201 FAX(011)812-2968 | 新潟 ☎(025)245-8596 FAX(025)245-8597 | 四国 ☎(087)851-9588 FAX(087)851-9592 |
| 仙台 ☎(022)232-3251 FAX(022)235-1067 | 松本 ☎(0263)33-1321 FAX(0263)33-1325 | 福岡 ☎(092)474-1190 FAX(092)474-1282 |
| 盛岡 ☎(019)653-5591 FAX(019)653-5419 | 名古屋 ☎(052)757-1053 FAX(052)757-1058 | 鹿児島 ☎(099)226-7511 FAX(099)226-7515 |
| 福島 ☎(0248)62-1420 FAX(0248)62-1422 | 静岡 ☎(054)286-0451 FAX(054)286-0453 | 沖縄 ☎(098)868-6367 FAX(098)868-6372 |
| 東京 ☎(03)5912-2841 FAX(03)5912-2847 | 北陸 ☎(076)222-9600 FAX(076)222-9608 | |
| 横浜 ☎(045)640-1081 FAX(045)640-1087 | 大阪 ☎(06)6265-6813 FAX(06)6265-6814 | |
| 埼玉 ☎(048)601-2191 FAX(048)601-2190 | 神戸 ☎(078)222-6341 FAX(078)222-6326 | 東京ショールーム ☎(03)6770-2012 |
| 千葉 ☎(043)382-4311 FAX(043)382-4312 | 京都 ☎(075)284-0770 FAX(075)284-0771 | 名古屋ショールーム ☎(052)757-1056 |
| 宇都宮 ☎(028)346-1750 FAX(028)346-1752 | 広島 ☎(082)254-1311 FAX(082)255-8817 | 大阪ショールーム ☎(06)6265-6828 |
| 北関東 ☎(027)322-8771 FAX(027)327-2271 | 岡山 ☎(086)243-1327 FAX(086)243-7508 | 福岡ショールーム ☎(092)474-1164 |

カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページまたはFAXにて

● 商品のお問い合わせ先

ホームページ: www.aica.co.jp

アイカ問合せセンター

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

FAX (052)409-1526

アイカカタログセンター
TEL (052) 409-1471

☎ (0120)525-100 TEL (052)409-8313 FAX (052)409-1482

D349E 19.06.1S.TP